



ヒルズ通信

第50号
社会福祉法人 景誠会
特別養護老人ホーム
ヒルズ勝沼

平成27年7月1日発行

一丁目

「七夕の飾り作り」



今年もはや半年が過ぎ、変わりゆく街の景色に時の早さを感じるこの頃です。

一丁目では、毎年六月の恒例行事になっております『七夕の飾り』を作りました。お花紙の花で「吹流し」を作ったり、色鮮やかな短冊には入居者様がそれぞれの願い事を書いて頂きました。



さて、七夕になると笹に短冊を吊るして願い事をすのぼりかご存在知でしょうか？江戸時代に寺子屋で学んでいた寺子達が習字が上達するようにと「短冊」に書かれたのが始まりとされています。また、笹（竹）は根強く繁殖力も強く、その生命力と神秘性から神聖なものとして扱われおり七夕の願いも笹（竹）に吊るすようになったと言われています。

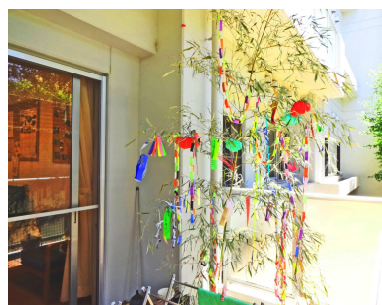
「紫陽花（アジサイ）」
梅雨に入り毎日はずきりしないお天

二丁目



余談になりましたが、入居者様と職員で笹に飾りを吊るして七夕を迎えようと思っております。昨年は雨でしたが、今年の七夕は晴れて天の川を見ながら皆様の願いが天に届くことを祈っております。

（芦澤 里美）



気が続いておりまして二丁目の入居者様はとても元気に過ごされています。雨では外に出る機会も少なくなりましたが今日この頃です。ヒルズ勝沼の庭ではアジサイが綺麗に咲いております。入居者様と晴れ間を見つけてはアジサイを見に行っています。入居者様は笑顔でお花を見て「きれいだね。」とおっしゃっていました。この時期しか見られない花なので皆様喜んでいました。

この度、二丁目に久しぶりに男性の方が入居されました。周りの入居者様がいろいろと教えてくれていきます。ご本人もとてもいい笑顔を見せて会話をしております。

二丁目も新しい入居者様を迎え、皆様が穏やかに生活が送れるように職員一同気持ち新たに仕事に取り組んで行きたいと思っております。

（山口 拓哉）

